

前期基本計画 平成29年度 基本施策方針書

政 策 : 06 総合計画の認知度を高め行財政基盤の確立を目指します

基本施策 : 03 安定した行政情報システム基盤の確保

主管課長職・氏名	情報システム課長 久保 正秋
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

		行政サービスの基盤となる各行政情報システムの安定稼働を常時確保するとともに、効率性及び安定性並びにトータルコストに配慮し、適正なシステム調達が行われている状態を目指します。また、社会保障・税番号制度が円滑に導入され、住民負担の軽減と行政運営の効率化のための情報システム基盤づくりが促進されている状態を目指します。
--	--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし システム安定稼働率 単位 %	100	100	100	100	100	100	-	
			100	0	-	-	-	0.0	
2	幸福 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	61	62	64	66	68	70	-	
			57.6	0	-	-	-	0.0	
	単位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 06030100 行政情報システムの安定稼働の確保 システム安定稼働率 単位 %	100	100	100	100	100	100	-	
			100	0	-	-	-	0.0	
2	幸福 06030100 行政情報システムの安定稼働の確保 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	61	62	64	66	68	70	-	
			57.6	0	-	-	-	0.0	
3	暮らし 06030200 番号制度の円滑な導入 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単位 %	35.8	40	42	43	45	46	-	
			36	0	-	-	-	0.0	
4	幸福 06030200 番号制度の円滑な導入 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	61	62	64	66	68	70	-	
			57.6	0	-	-	-	0.0	
	単位								

前期基本計画 平成29年度 基本施策方針書

政 策：06 総合計画の認知度を高め行財政基盤の確立を目指します

基本施策：03 安定した行政情報システム基盤の確保

主管課長職・氏名	情報システム課長 久保 正秋
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 基本施策目標の進捗状況分析

行政サービスの基盤となる各行政情報システムにおいては、組織的に最適化を図るとともに仮想化基盤の活用を拡大し、安定稼働の確保に努めています。また、社会保障・税番号制度への対応については、円滑な導入に向けシステム改修等を順次実施しています。その一方で、情報セキュリティ上の脅威や大規模災害等から市民の情報を守るため、セキュリティ対策を強化していく必要があります。

(2) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

- ・国の「世界最先端IT国家創造宣言」によるIT活用社会の進展で、住民のライフスタイルやニーズが大きく変化しており、時代に即した行政サービスの提供が必要です。また、国民生活を支える社会的基盤となる社会保障・税番号制度は全国一斉の取組みであり、その円滑な導入において自治体が重要な役割を果たす必要があります。
- ・サイバー攻撃等のセキュリティ脅威が高度化があり、より安全で運用性の高いセキュリティ対策が求められています。

(3) 政策との関連性

情報システム最適化の取組みは、安定したシステム稼働とともに資源配分の適正化にもつながり、行財政基盤の確立に寄与します。同様に社会保障・税番号制度の円滑な導入は、住民サービスの向上と共に効率的な行政運営につながり、行財政基盤の確立に寄与します。

3. 基本施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 基本施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

- ・情報システム最適化の取組みにおいては、計画の随時改正やシステム審査会の開催等により、より適正な調達を目指します。システム更新は、原則として仮想化基盤上に行うことにより、システムの集積化及び集約化を推進し、ハードウェアとソフトウェアの分離調達及び分離更新を推進していきます。また、仮想化基盤上での運用により、より効率的で安定性の高いシステム運用を実現します。
- ・社会保障・税番号制度を円滑に導入し、新たな社会制度に向けたシステム基盤づくりを行います。

(2) 基本計画期間内の取り組みと方針のうち、平成29年度の重点課題

- ・社会保障・税番号制度の円滑な導入のため、他の行政機関等との情報連携開始に向けたシステム対応及びテスト作業等を実施します。
- ・システム審査会の開催等により、情報システム最適化の取組みを継続して実施します。

(3) 基本計画期間及び平成29年度重点課題に基づく優先順位の考え方

社会保障・税番号制度は国の新たな制度であり、他の行政機関等との情報連携が予定されています。その仕組みづくりは市民サービス業務に直結することから、円滑な導入は最優先課題であると考えます。また、情報システム最適化の取組みは、行財政基盤の安定化に寄与するものであり、重点課題であると言えます。

